

News Release

2013年2月7日

〒103-8247

東京都中央区日本橋1-4-1
日本橋一丁目ビルディング
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社

**豪州北西部天然ガス開発プロジェクト向け
サーフェスケーシング用高強度肉厚電縫鋼管 2千トン初納入
～世界初の「X80グレードでの管厚 20mm 超え電縫鋼管」(*1)～**

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社（本社：東京都中央区、社長：牛野健一郎）は、オーストラリアのエネルギー開発会社である SANTOS(サントス)社向けに、X80 グレードで外径 20 インチ、肉厚が 20mm を超える極厚電縫管 2,000 トンを、JFE スチール株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林田英治、以下 JFE）と共同で受注し全量納入しました。

同製品は、SANTOS 社がオーストラリア北西部の海盆で展開する「Crown-1 プロジェクト」及び「Winchester-1 プロジェクト」(*2)でサーフェスケーシング用(*3)として使用されます。両地域の採掘開始時期は、「Crown-1 プロジェクト」が 2012 年下半期、「Winchester-1 プロジェクト」が 2013 年上半期目標となっております。

従来、深海の外部圧力に耐える強度と厚みを満たすためにはコストの高いシームレス(継目無)鋼管もしくは UOE 鋼管を使用する必要がありましたが、この度 JFE が、X80 というハイグレードで 20mm を超える極厚品をコストパフォーマンスに優れる電縫鋼管にて開発、世界で初めて製品化に成功したものです。

当社は SANTOS 社との間で 25 年以上に亘るシームレス油井管供給・サービスの長期契約を保有しており、契約期間中は豪州における SANTOS 社使用の全油井管を独占供給する事になっております。鋼管供給契約にロジスティクスや技術サポート等のサービス提供を加える事で顧客満足度を高め、関係を強化して参りました。

当社は JFE と共同で石油・ガス掘削の基幹部材であるコンダクターパイプの販売に力を入れており長年に亘って全世界のお客様に使用頂いておりますが、今後更に高強度厚

肉鋼管の拡販に注力し、世界の資源・エネルギー分野における安全かつ経済的な開発に貢献して参ります。

(*1) 管厚 20mm 超え高強度厚肉鋼管

X80 グレードという高い要求強度の外径 20 インチの鋼管で、世界で初めて管厚 20mm 超えの厚みを実現したもの。(本案件の具体的サイズは 20”x 20.574mm x 40 ft)

(*2) Crown-1 プロジェクト及び Winchester-1 プロジェクト

Browse 海盆 (Crown-1) および Carnarvon 海盆 (Winchester-1) において天然ガス及びコンデンセイト (常温で液体の天然ガス) を開発するプロジェクト。

(*3) サーフェスケーシング

石油・ガス井の掘削作業の初期段階において、油井管を外圧から守る強固な外殻として地中・海底に埋設する鋼管。

【SANTOS 社の概要】

1954 年創立。天然ガス開発大手であり、主に豪州及びアジアで事業を展開。

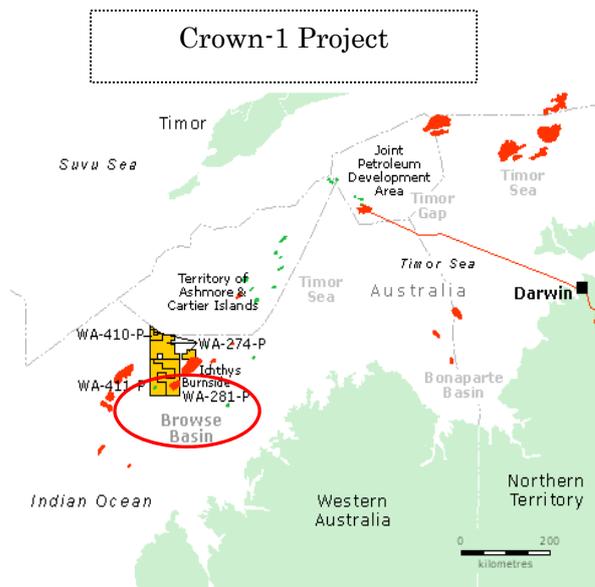
本社 : オーストラリア・アデレード

売上高 : 約 2,530 百万豪ドル (約 1,920 億円) - 2011 年実績

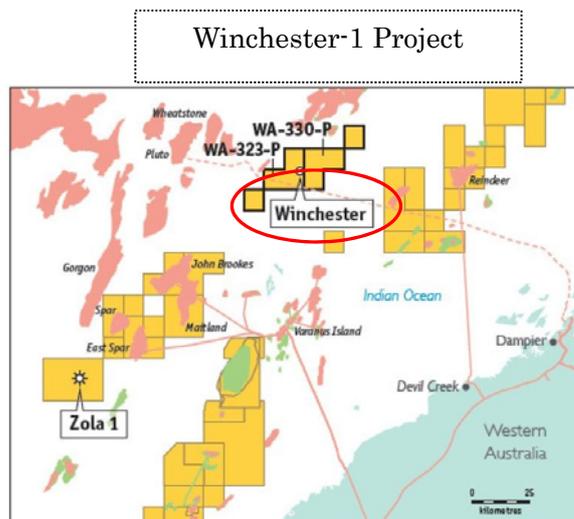
純利益 : 約 753 百万豪ドル (約 570 億円) - 2011 年実績

* 76 円/豪ドル換算

【地図】



LEGEND
 ■ Santos Acreage
 ■ Oil Field
 ■ Gas Field
 - Gas Pipeline



LEGEND
 ■ Santos acreage
 ■ Oil field
 ■ Gas field
 — Oil pipeline
 - Gas pipeline



